

参加者、
青木、石川、梅沢、北島、佐藤、中島、中野(茂)、中野(弘)、
並木、安田、山岡、横関、小海(新会員で大工さん)、
ゲスト、
小野村(梅沢氏友人)、河野(佐藤氏友人)、高橋夫妻、

BMW RS Club

April 5, '98

かわらばん

桜の中を笠間稻荷より
“ガマの油”の筑波山へ

エルニーヨ現象の影響なのか、今年は早くから暖冬が伝えられていましたが、それにしては何度も雪に見舞われた冬でした。気象庁は「暖い冬には関東地方に雪が多い」とか言っていますが、毎度のように嘘ばかりつかれると、「狼少年」の寓話のようにそれもなかなか信じ難い気分です。

それでも「暑さ寒さも彼岸まで」の例え通り、その日を境に寒気が緩み、先月末には東京地方に桜の開花宣言が出されました。深大寺の野草園ではアミガサユリやハルトラノオ、キツネノボタンなどの山野草が次々に花を開き、東に向いた斜面ではカタクリの淡い紫の花が群棲して春を演出しているとか。隅田堤の桜も一斉に開花して、大川には花見客を乗せた屋形船が風情を添えています。

去年は天候不順でキャンセルが何度もあり、そのメークアップに12月にツーリングが計画されました。しかし流石に師走の寒いさ中を走り、それから温泉に入って帰るというのは、体に自信の無い我々には到底かなわず、五人ばかりの“ツワモノ”しか参加しなかったそうです。その上に3月の幕開けツーリングは折からの雪で、春の淡雪そのもののようにはかなく流れてしまい、従って殆どのメンバーにとっては、今回が11月以来のツーリングということになりました。折から東京はソメイヨシノが満開となり、2~3日前までは奇麗だと思っていたボケや椿そして海棠(かはどう)などが、桜の引き立て役になってしまったかのようです。

集合地の常磐高速、守谷SAへ向かうと春霞が立ったかのように周囲が霞み、柏を過ぎて利根川にかかる橋の上では、道路上の案内標識がボンヤリと見えるほどでした。しかしバイクには絶好の日和となり、久々に集まったメンバーやゲストの皆さん顔も何か嬉しげです。お揃いのエンジ色のバイクに乗った高橋夫妻、佐藤さんの友人でデザイナーだという茶髪の河野さん、そして梅沢さんの知人で昭和9年生まれの小野村さんがゲストで参加し、新たに会員になった小海さんを加え、計17台で最初のストップ地点となる友部PAへと飛び出しました。この道は覆面や白バイが居るので、皆で気を付けようと言ったのも忘れたかのように、いつの間にかスピードが上がり、瞬く間に桜とレンギョウそして木蓮やコブシの咲く友部に着きました。ここで休んでいると外人が二人現れて、守谷と姉妹都市のミュンヘンに近い町から遊びに来たとか。BMWの工場はミュンヘンですから、彼らは一層喜んで我々と一緒に記念撮影をしました。彼等が行ってしまってから「ドイツ人だと知らなかったよ、ドイツ語だったら話が出来たのに」と並木さんがとても残念がっていました。ドイツ語が得意だったとは知りませんでした。

少し走って水戸ICで高速を降り、車の多い国道を笠間方面へと向かいました。周囲が如何にも田舎の感じがする大きな駐車場に、タダで17台ものバイクを置かせてもらい、全員で笠間稻荷へ旧暦にしても大分遅くなった初詣に行きました。

有名なお稲荷さんのわりにはこじんまりとしていて、古い建物は巨漢の遊佐ちゃんが体当たりをしたら、きっと壊れてしまうという声も有りました。

並木さんがお守りを買っていたら「並木さん、水子供養ですか?」と尋ねていたメンバーが居ました。その後は近くの造り酒屋へ寄り、各々が利き酒をして「甘いとか辛いとか」勝手な能書きを言い、私とゲストの一人が土産を買い、クラブでも昼飯用にと一升を仕込みました。

そこから小さな峠を越え、更にカントリーロードを暫く走って、目の前に現れてきた筑波山へと向かいました。山を上って行くと右手には桜が見事に咲き、所々に「ガマ公園」という案内版が立っていますが、考えてみれば「さあさあ、お立ち会い」で始まり、「ガマはガマでもガマが違う四六のガマだよ」で名高い筑波山でした。無線の無いメンバーが又々はぐれてしまい、今日の飯処である「つくばえん」の前で暫く待って、待望の猪ナベにありつく事になりました。

炭火の上に平たい鉄鍋が乗せられ、スキ焼きのタレに味噌が入った感じの味付けで、肉や野菜などがグツグツと煮え始めました。二人のお姉さんが最初の内は面倒を見てくれましたが、一人の方はタッパリとした人で猪かと間違えた程でした。とても静かでのどかな感じでした。

「猪ブタかい?」と聞いたら、「これは地物の猪ですよ」と言われましたが、そんなに猪がいるものでしょうか。酒屋で買った一升瓶は瞬く間に皆の胃袋に納まり、ゲストの小野村さんが自分のお土産を開けていました。一足先に彼が帰って行きましたが、窓から私が声をかけたのが災いしたか、立ちごけをしてしまい、皆でバイクを起こしに立ち上がったのをしおに帰途につきました。

土浦北から高速に乗り、すぐ先の守谷SAに集合して記念撮影を済ませ、ここで解散となりました。未だ道もすいていて文京区の我が家に着いたのは丁度4時。265キロのとても楽で楽しい一日でした。幹事の石川さん。いつもながらに凝ったコース設定を有り難うございました。

皆様の後押しでこの「かわらばん」も4年目に入りました。今年よりの新しい試みとして(私の蠍と観む)、雑誌に出す前に会員の為の「売りたし、買いたし、只で上げます」コーナーを作りたいと思います。ご希望の方は中島までお申し出下されば、翌月号の「かわらばん」に掲載致します。なお「只で上げますコーナー」では古女房、悪ガキ等は申し出が殺到しそうですのでご遠慮下さい。

写真の同封されたものが有りますが、これはメンバーの中野(茂)さんが撮ったものです。一月の総会時の写真をメンバーの三浦さんが写し、私が預かりましたので参加者には同封致します。